

美 浜 町 商 工 会 館 土 質 調 査

報 告 書

昭 和 53 年 6 月

調査の概要

調査名 美浜町商工会館土質調査

調査場所 三方郡美浜町 松原 地係

調査期間 着手 昭和 53 年 6月12日
完了 昭和 53 年 6月20日

調査内容 調査ボーリング 口径 65mm 2箇所

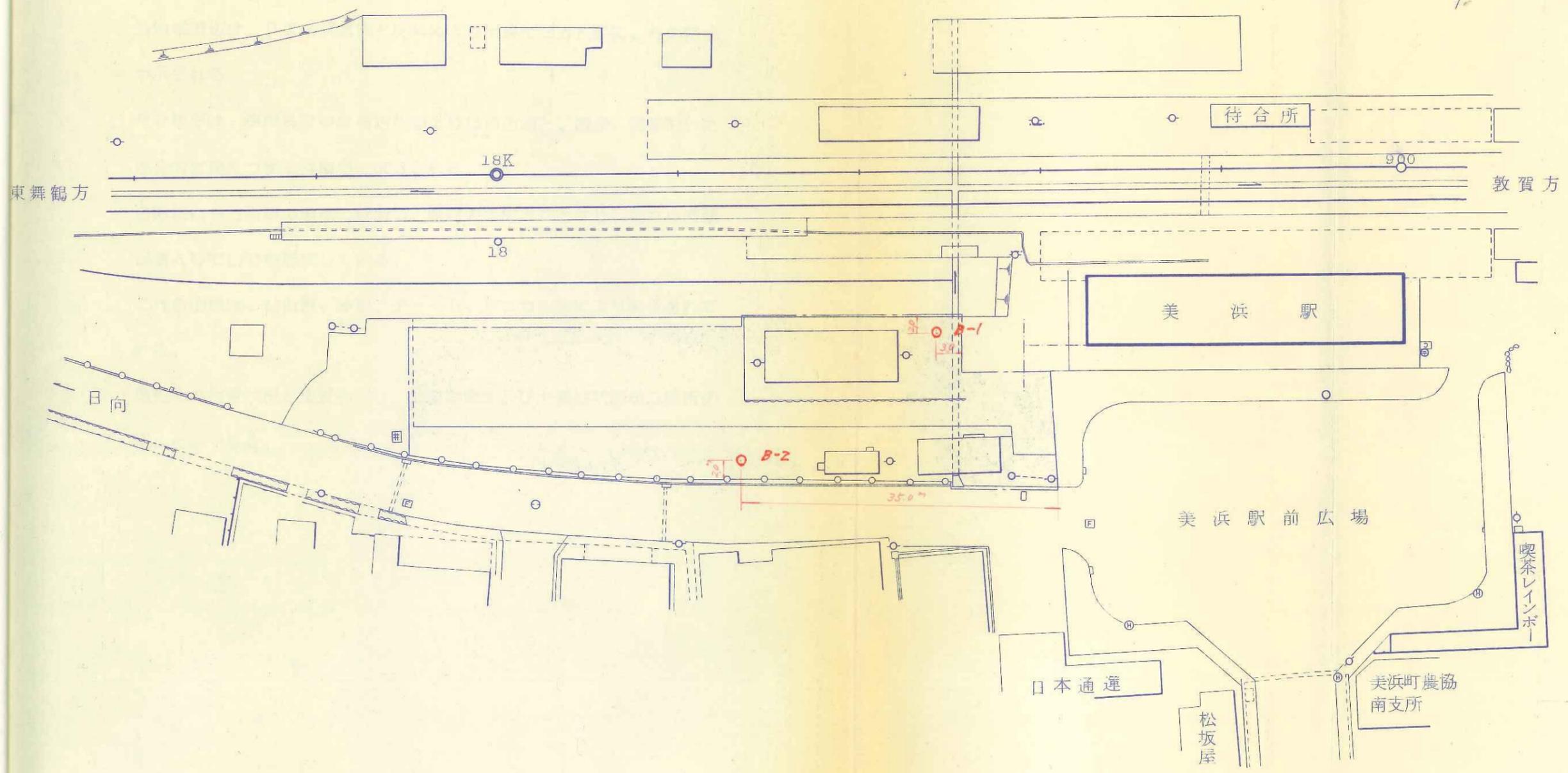
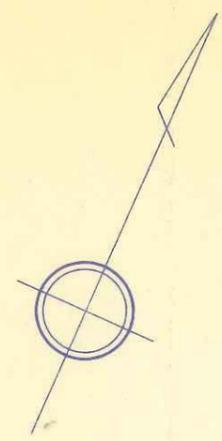
深度 B-1 6,20 m
B-2 5,30 m

原位置試験 (JIS-A-1219)

B-1 6回
B-2 5回

調査担当 現場調査作業 / 河口守輝

美浜駅構内一部平面図



工事設計図

名			
---	--	--	--

調査地の地形と地質概説

本調査地点は、美浜町の中心部にあって、耳川の流域に位置する。

当地域周辺は、リアス式海岸と沈降により出来た三方五湖に、その特色が示される。

その地形は、海岸まで迫る古生層よりなる山地と、湾岸、湖岸沿いに部分的に発達する沖積層に区分される。

当地域は三方断層の東側に位置し、断層の西側とことなり、花コウ岩類が貫入して山地を形成している。

これら山地は、粘板岩、砂岩、チャート、花コウ岩類により構成されている。

調査地の地質状況と土質構成は、地層断面図及び土質柱状図から解折することができる。

土質調査結果及び基礎工法についての検討

調査地において、2本の調査ボーリングを行なった。

その結果は、別紙土質柱状図により示されるが、ここでは土層構造について解析を行なう。

2地点とも上層より、その土質は砂レキ層によって、構成されているとすることができる。

即ちB-1は、深度0,35M~1,60Mのコンシステンシー中位程度の砂質シルト層をはさむが、それより下層はN値50以上の非常に密な砂レキ層地盤が、続いている。

B-2は地表より、直接密な砂レキ層地盤となっている。

以上から2Mより下の地盤は、支持層として、大変良好であると言える。

基礎工法については、支持地盤が浅いので、直接基礎工法が考えられる。この場合上部の軟弱層を掘削カットする必要がある。

直接基礎工法（フーチング基礎）の許容支持力についての検討

支持地盤を深度 3 m に仮定したときの許容支持力を算出する。

長期許容支持力度 (t/m²)

$$q_a = \frac{1}{3} (dcN_c + Br_c BN_c + r_1 pfN_q)$$

設計用N値： B-1のデータより

$$\phi = \sqrt{12 \times 50} + 15$$

$$\doteq 39$$

$$N_c = 42.2 \quad N_r = 30.5 \quad N_g = 33.6$$

$$d = 1.3 \quad B = 0.4 \quad C = 0$$

$$r_1 = 1.8 \quad r_2 = 1.8 \quad B = 2 \quad D_f = 3$$

$$q_a = \frac{1}{3} (1.3 \times 0 \times 42.2 + 0.4 \times 1.8 \times 2 \times 30.5 + 1.8 \times$$

$$3 \times 33.6) = \frac{1}{3} \times 226$$

$$\doteq 75 \frac{t}{m^2}$$

調査名・調査地点 美浜町商工会館土質調査

標高

m

調査年月日 53年6月12日~53年6月

ボーリング孔: No B-1

孔内水位 無し

m

調査担当者 河口守輝

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	現場土質名	観察色調	記録記事	深さ m	標準貫入試験			試験値	試料番号	試料深さ m
									打撃回数	10cm 打撃回数	30cm 打撃回数			
1		0.35	0.35	⊗	盛土	褐	レキ混り砂質土	1.15	5	3	1	1		
2		1.60	1.25	⊙	粘性土	灰	上部レキ混り粘性土 下部多量レキ風化岩レキ混る	1.47	32	11	12	16		
3				⊙			レキ径max80mm 風化岩レキ混る	2.15	40	11	13	16		
4				⊙			岩水比中位 4~5m付近細レキ	2.45	30	11	24	12		
5				⊙			い。チヤートレキは 花コウレキはむ。	3.15	51	27	9	4		
6		6.20	4.60	⊙	砂	褐	5m付近逸水有り 砂は細~粗砂	4.15	50	16	22	11		
7								4.39	24	18	17			
8								5.15	46					
9								5.45	30					
10								6.10	51	51				
11								6.20	10					
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

備考:

- 試料採取方法の記号
- ソノウオールサンブラー
 - 貫入試験用サンブラー
 - ◎ デニソン型サンブラー
 - ⊕ フォイルサンブラー
 - ⊗ その他

調査名・調査地点 美浜町商工会館土質調査

標高 m

m

調査年月日 53年 6月 14日 ~ 53年

ボーリング孔：No B-2

孔内水位 無し

m

調査担当者 河口守輝

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	現場土質名	観察色調	記録事	標準貫入試験			試料番号		
								深さ m	打撃回数	貫入量 cm			
1		0.65	0.65		盛土	褐	レキ混り砂質土 垂角レキ max 90 ^m 含水比 15~20% 含む。レキ硬い 3~4mm 細レキ目立ち チャータートレキ混る 3.20m 付近逸水有り。	1.15	36	9	12	15	
2								-1.45	30				
3								-2.15	51	23	28		
4								-2.35	20				
5		5.30	4.65		砂	暗褐		3.15	52	22	20	11	
6								4.15	52	19	16	15	
7								4.45	30				
8								5.15	50	35	15		
9								5.29	14				
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													

備考：

- 試料採取方法の記号
- シンクオールサンダー
 - 貫入試験用サンダー
 - ⊕ デニソン型サン
 - ⊕ フォイルサン
 - × その他

地 層 断 面 图

S=1:100

